

# 令和3年度宮崎県体操協会運営方針、活動方針

宮崎県体操協会は、県内における体操界を統括し、代表する競技団体として、健全な普及、振興を図り、体操・新体操・トランポリン等の活動を通して県民の健康維持、推進を図る。

本年度最重点課題

組織の充実・活性化・安定化・進化

## 1. 組織の充実・活性化

- (1) 本会は、体操を通じて健康観を確立、維持する者の組織であり、老若男女を問わず登録、参加できることから組織の連携と和(輪)を最優先する。
- (2) 各委員会の活性化を図り、業務分担を強力に推し進める。各委員会必要物品の整備を進めるとともに本年度から九州体操協会事務局当番県として万全の体制を構築するため県協会会員の協力・支援を要請する。
- (3) 体操・トランポリン委員会との連携を図り、協力体制の整備を進める。

## 2. 各種大会の開催

- (1) 関係機関等と連携し、主催大会、共催大会、体操祭等を開催する。
- (2) 今後の協会活動費確保のため、支出抑制対策等を一層推進するとともに、資金の増収対策を構築する

## 3. 普及・振興、競技力向上、財務管理

- (1) 各種技術研修会、審判研修会を通して競技の普及・振興を図り、各種別の上級審判資格等の取得を奨励し、競技力向上を図る。
- (2) 本県を代表して出場する団体、個人の対外的競技会での上位入賞を目指す。
- (3) 組織の財務状況が厳しいことから、その執行を抑制する。また、物品販売や寄付金等による収入増対策を進める。
- (4) 協会ホームページを計画的に更新するなど情報提供等を推進する。
- (5) 延岡市への県体育館移動、事務局移転、国民スポーツ大会準備に備え、今後の協会財政について登録料値上げ等を含めた検討を進める。

## 4. 2027年二巡目国民スポーツ大会への取り組み

### (1) 選手の段階的、系統的育成(重点課題)

- ・開催時期に、少年・成年選手として活躍できる候補者を発掘し、指定選手制度等を企画するなど、段階的、系統的に取り組むための基礎、基盤作りをする。
- ・強化委員会の協議を経て、該当年齢者(ターゲットエイジ)に強化指定書を配布する。

### (2) 運営役員、審判員、指導者等の育成、確保(重点課題)

- ・全国規模の大会を運営するには、多くの人材を必要とすることから、計画的な人材育成、確保のための基礎、基盤作りをする。(旧会員の掘り起こし含む)

### (3) 競技会場の充実

- ・現有施設の老朽化等を勘案して、新競技場の新設に関係機関に強力に要請する。公的施設として宮崎市内に整備予定の体操練習場(仮称)に関して関係機関と連携を密にする。
- ・宮崎県総合体育館(仮称)の建設に協会としての器具配置等を提言する。
- ・宮崎市アリーナ(仮称)の建設が確定した場合に、協会としての器具配置等を提言する。

### (4) 第4回「国体を語る会・懇親会」を開催する。(第2、3回は中止)

- ・二順目国民スポーツ大会宮崎大会に向けて国民スポーツ大会を理解し、会員相互の交流、親睦を図る。

## 5. 倫理規定の遵守

### (1) 本会登録団体内での理解、遵守

- ・「倫理規程」を加盟登録団体に周知し、研修を通してその遵守を推進する。

### (2) 公的資金等の適正執行

- ・競技の普及・振興等の研修会、競技力の向上に係わる強化費等の公的資金の適正執行を図る。